

實ニ工業土曜會 (泉南郡一田、繊維工業者三数名ヲ組織セル事業

主連絡ノ機關ニシテ營業上諸種ノ打合セヲ為シツ、アリ争議ニ就テハ其ノ解決ノ如何ニヨリ
他ノ同業者ニ影響ヲ與フルモノナルヨリ可成同一步調ヲ以テ之ニ臨ムヘク豫テヨリ申合アリタリ

ト云フ)ノ争議對策申合ハ會社側ニ應援シテ始終
強硬ナル態度ヲ保持セシムルニ與ツテ力アリシナリ。

(註)十二月一日末岸和田ニ於テ発行スル民友

新聞社長原静村、同地國粹會員伊藤
由松外五名突起トナリ 船木岸和田市長

田中北掃守村助役、藤田麻生郷村書記
等ト共ニ勞資両者間ヲ奔走セルガ其調

停案内容次ノ如シ

- 1. 本會ニ關シ撤消者ヲ出ササルコト
- 2. 日給及ハ所得金ノ五分値上スルコト
- 3. 労資ノ手當ヲ回復スルコト (寺田紡績ニシテ該當ス)
- 4. 工場施設ニシテ改良ヲ要スルモノ、内輕易ナル
コトハ即時実施シ其他ハ漸次実施スルコト

本争議ハ四工場殆ト一時ニ發生

寺田紡績

十月廿四日要求提出ト共ニ拒絶
セラレ全社大日ヨリ罷業